


 2020年7月20日
 株式会社リクルートライフスタイル

飲食店からのテイクアウトの利用実態を調査

2020年5月に飲食店のテイクアウトを利用した人は58.1%
利用動機は「安全」「作るのは手間」「定期的に食べたいメニュー」
平均単価は「夕食」1,708円、「昼食」1,054円

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、2020年5月の飲食店からのテイクアウトの利用実態について消費者アンケートを行いましたので、その結果を発表いたします。

<要約>

**POINT1 2020年5月に飲食店からのテイクアウトを利用した人は58.1%。
 利用業態最多は「ファストフード」（24.8%）** . . . P3-4

- 2020年5月に飲食店からテイクアウトを行った人は合計58.1%と過半数。
- 業態別では「ファストフード」24.8%、「牛丼、カレー等、一品もの専売業態」16.0%、「和食料理店」で12.6%等。

**POINT2 テイクアウト利用が多いのは「自宅」で「夕食」に「家族・親族」で。
 利用動機は「安全」「作るのは手間」「定期的に食べたいメニュー」**
 . . . P5-7

- テイクアウトした食事は、食事の種類「夕食」69.5%、相手「家族・親族（19歳以上のみ）」28.4%、場所「自宅」95.8%。
- 利用の動機は「自分や家族が安全」45.9%、「家で作るのは手間」45.2%、「定期的に食べたいメニュー」が41.2%。女性は多くの項目でこだわりが強い。
- 今後の利用動機は「家で作るのは手間」35.7%、「自分では調理しにくい・できないメニュー」35.1%。

POINT3 テイクアウト単価、「夕食」平均1,708円、「昼食」同1,054円
 . . . P8

- テイクアウトの単価（一人一食分あたり）、平均額が最も高かったのが「夕食」で平均1,708円、次いで、「昼食」が平均1,054円、「夜食」が平均971円等。
- 60代男女は単価が高くなる傾向。「夕食」では60代女性が平均2,107円、「昼食」では60代男性が平均1,227円と最も単価が高かった。

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

調査概要と回答者プロフィール

◎調査名	外食市場調査(2020年5月度)
◎調査方法	インターネットによる調査 首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食マーケット基礎調査)の中で、2020年5月における飲食店からのテイクアウトの実態、テイクアウトした・今後したいシーン、テイクアウトした・今後したい理由、テイクアウトにかかった食事の種類別の費用などを聴取。
◎調査対象	首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

①調査目的	本調査の協力者を募集するために実施
②調査時期	2020年4月20日(月)~2020年5月1日(金)
③調査対象	首都圏、関西圏、東海圏に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
④調査内容	本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
⑤配信数	530,314 件
⑥回収数	33,731 件
⑦本調査対象者数	16,422 件

- ◆本調査対象者の割付について
- ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付を行って回収した。
 - ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)=250セルについて、平成30年人口推計(総務省)に基づき割付を行った。
 - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

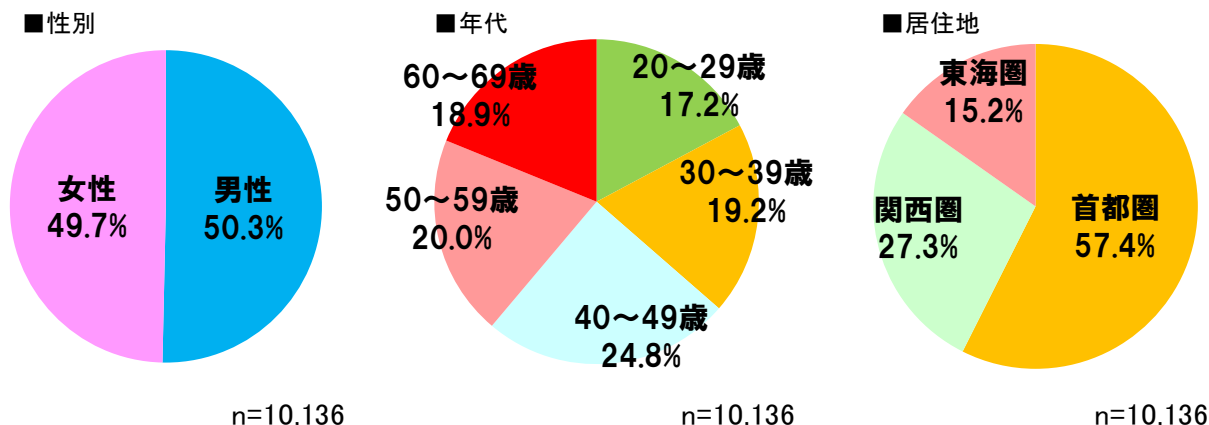
■本調査

①調査方法	・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
②調査期間	2020年6月1日(月)~2020年6月9日(火)
③配信数	13,014 件
④回収数	10,344 件 (回収率 79.5 %)
⑤有効回答数	10,136 件 (首都圏 5,134 件、関西圏 2,636 件、東海圏 2,366 件)

※回収された票のうち、自由回答コメントから、趣旨に合わないと判断された票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

- ◆集計方法について
- ・本調査結果は、平成30年人口推計(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分=250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計を行っている。
 - ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 10,136 件(首都圏: 5,820 件、関西圏: 2,771 件、東海圏: 1,545 件)

◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)

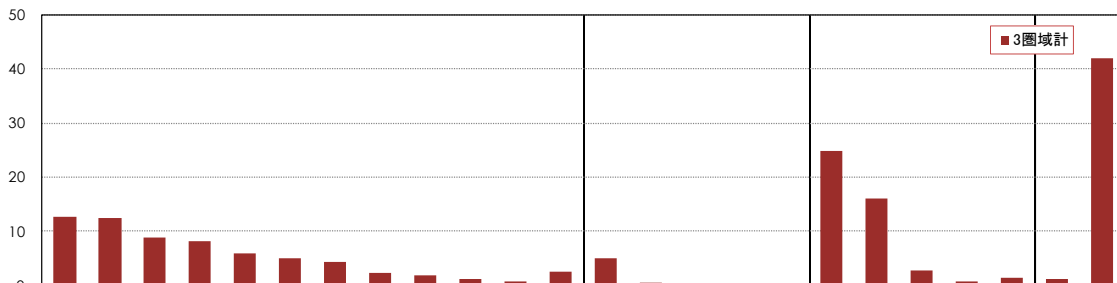


1. 2020年5月に飲食店からのテイクアウトを利用した人は58.1%

2020年5月の飲食店からのテイクアウト経験とその業態を聞いた。いずれかの業態の飲食店からテイクアウトを行った人は合計58.1%と過半数。業態別で最も多かったのは「ファストフード」で24.8%、2位は「牛丼、カレー等、一品もの専売業態」で16.0%、3位は「和食料理店」で12.6%、僅差で4位が「ファミリーレストラン、回転すし等」で12.4%であった。性年代別では、20・30代女性と30代男性でテイクアウト利用者が目立っている。「ファストフード」からのテイクアウト経験でも全く同じ性年代で高いスコアとなっている。「ファストフード」等のテイクアウトになじんでいた若い世代がこの期間のテイクアウト市場をけん引した可能性があると考えられる。

■ 2020年5月に飲食店から食べ物や飲み物をテイクアウトした業態（全体／複数回答）

構成比(%)



		食事を主体とする業態の飲食店										飲酒を主体とする業態の飲食店						軽食を主体とする業態の飲食店					その他	飲食店からテイクアウトしていない	飲食店からテイクアウトした・計		
		和食料理店(すし、割烹、料亭、郷土料理専門店)	ファミリーレストラン、回転すし等	ラーメン、そば、うどん、パスタ、ピザ等の専門店	中華料理店(ラーメン専門店を除く)	レストラン(ファミリーレストラン以外)、食堂、ダイニング、洋食店(フレンチ・イタリアン以外)	焼肉、ステーキ、ハンバーグ等の専門店	フレンチ・イタリアン料理店(ファミリーレストラン以外)	アジア料理店	お好み焼き、鉄板焼き等の専門店	その他の各国料理店	すき焼き、しゃぶしゃぶ、鍋、おでん等の専門店	その他の食事を主体とする業態の店	居酒屋(焼鳥、串焼き、串揚げ等、飲酒メインの業態を含む)	バー、バル、ワインバー、ビアホール、パブ	スナック、ナイトクラブ、キャバレー	カラオケボックス	その他の飲酒を主体とする業態の店	ファストフード(ハンバーガー、サンドイッチ等)	牛丼、カレー等、一品もの専売業態	喫茶店・カフェ	立食のラーメン、うどん・そば業態	その他の軽食を主体とする業態の店	その他	飲食店からテイクアウトしていない		
(件数:人※補正後)																											
3圏域計		10,136	12.6	12.4	8.9	8.1	6.0	4.9	4.4	2.4	1.9	1.2	0.7	2.5	5.0	0.6	0.1	0.1	0.2	24.8	16.0	2.8	0.6	1.3	1.2	41.9	58.1
性年代別	男性/20歳代	890	13.5	10.2	9.9	6.6	8.5	5.4	3.5	2.4	1.7	1.3	1.9	2.1	4.9	0.8	0.3	0.2	0.2	26.2	19.6	2.9	1.5	1.2	0.4	42.6	57.4
	男性/30歳代	987	13.9	13.3	11.4	10.1	8.7	6.1	4.0	2.7	2.7	1.0	1.5	2.0	6.1	0.9	0.2	0.2	0.5	30.9	21.7	2.8	1.1	0.8	0.3	36.2	63.8
	男性/40歳代	1,270	10.3	12.4	8.9	8.8	4.8	5.4	3.5	2.0	1.2	1.3	0.3	2.5	4.9	0.8	0.1	-	0.1	23.9	19.7	2.0	0.7	1.3	0.7	43.9	56.1
	男性/50歳代	1,025	11.0	9.9	6.5	7.2	4.1	4.5	3.8	1.7	1.8	0.9	0.2	2.2	5.2	0.8	0.1	-	0.1	19.9	16.2	0.5	1.0	0.8	0.9	49.3	50.7
	男性/60歳代	931	13.8	8.5	4.8	8.4	3.9	4.7	3.2	1.3	1.5	0.5	0.5	3.2	3.2	0.3	-	-	0.3	11.6	9.4	0.9	0.2	0.3	1.4	54.0	46.0
	女性/20歳代	854	12.1	12.1	10.7	8.4	6.7	4.8	5.9	3.5	1.6	1.5	1.7	2.8	5.4	1.1	0.2	0.2	0.4	32.5	16.7	5.9	0.5	2.1	1.2	33.9	66.1
	女性/30歳代	959	10.8	15.7	12.6	8.6	7.6	6.6	5.8	3.6	2.3	2.0	0.6	2.2	6.0	0.3	0.2	0.1	-	36.2	17.2	6.5	0.4	2.7	1.6	29.8	70.2
	女性/40歳代	1,239	11.6	15.2	8.8	6.8	6.4	3.6	5.4	2.4	1.4	1.3	0.5	2.3	6.3	0.2	-	-	0.1	29.2	14.0	3.0	0.4	2.0	2.2	37.5	62.5
	女性/50歳代	1,001	12.1	13.4	8.3	8.3	5.1	4.2	5.0	2.5	1.6	1.1	0.3	3.2	4.4	0.3	0.1	-	-	23.2	14.8	2.6	0.2	1.2	1.7	42.4	57.6
	女性/60歳代	980	18.0	12.1	7.2	8.3	4.5	3.7	4.0	2.1	3.0	0.8	0.3	2.7	3.0	0.2	-	-	-	14.7	10.2	1.6	-	1.0	0.9	49.0	51.0
圏域別	首都圏	5,820	12.5	11.9	9.5	7.6	6.4	5.2	4.9	3.1	1.1	1.3	0.8	2.4	5.6	0.7	0.2	0.1	0.2	25.0	17.1	3.0	0.6	1.3	1.2	41.8	58.2
	関西圏	2,771	12.3	12.1	8.2	10.0	5.6	4.4	3.8	1.4	3.1	0.9	0.7	2.2	4.4	0.4	0.0	0.1	0.1	24.7	13.5	2.3	0.4	1.4	1.2	42.6	57.4
	東海圏	1,545	13.6	14.6	7.9	6.9	5.3	4.4	3.5	1.7	2.5	1.1	0.6	3.3	3.5	0.4	0.1	0.1	0.1	24.4	16.2	2.9	0.7	1.3	0.9	41.2	58.8

※3圏域計の多い順にソート

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

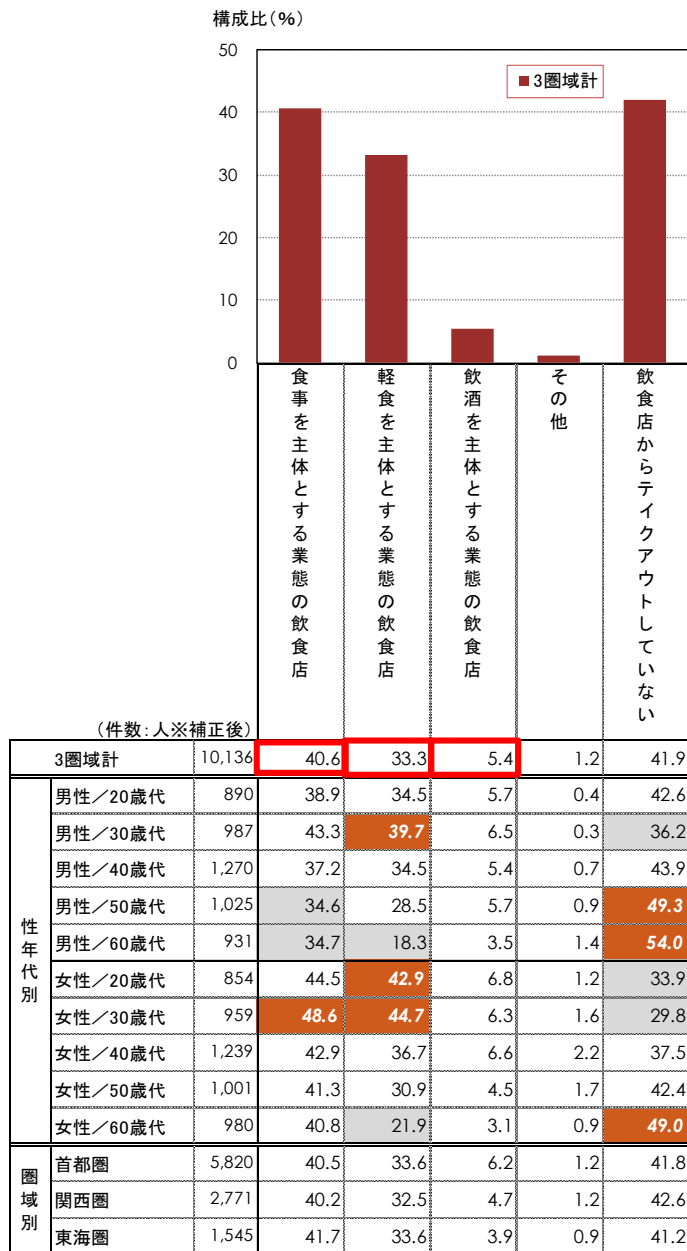
■ 3圏域計より5ポイント以上低い項目

※「飲食店からテイクアウトした・計」：「2020年5月に食べ物や飲み物をテイクアウトした業態」で「飲食店からテイクアウトしていない」以外の回答者を集計

(参考) 飲酒を主体とする業態からのテイクアウト経験は5.4%にとどまる

前ページの各業態を「食事を主体とする業態」「飲酒を主体とする業態」「軽食を主体とする業態」「その他」の4分類でまとめた。「食事を主体とする業態」からのテイクアウト利用者が40.6%、「軽食を主体とする業態」からのテイクアウト利用者が33.3%、「飲酒を主体とする業態」からのテイクアウト利用者が5.4%となっている。2020年5月は緊急事態宣言の影響で多くの飲食店が営業の自粛や営業時間短縮を行う中、テイクアウトへの道を模索する飲食店も多かった。もともとテイクアウトとの兼業も一般的な「軽食を主体とする業態」や「食事を主体とする業態」はテイクアウト市場でも一定のシェアを確保する一方、「飲酒を主体とする業態」のテイクアウト市場への参入が、一筋縄ではいかなそうなことが示唆されるデータとなっている。

■ 2020年5月に飲食店から食べ物や飲み物をテイクアウトした業態 (全体/複数回答)



※3圏域計の多い順にソート

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

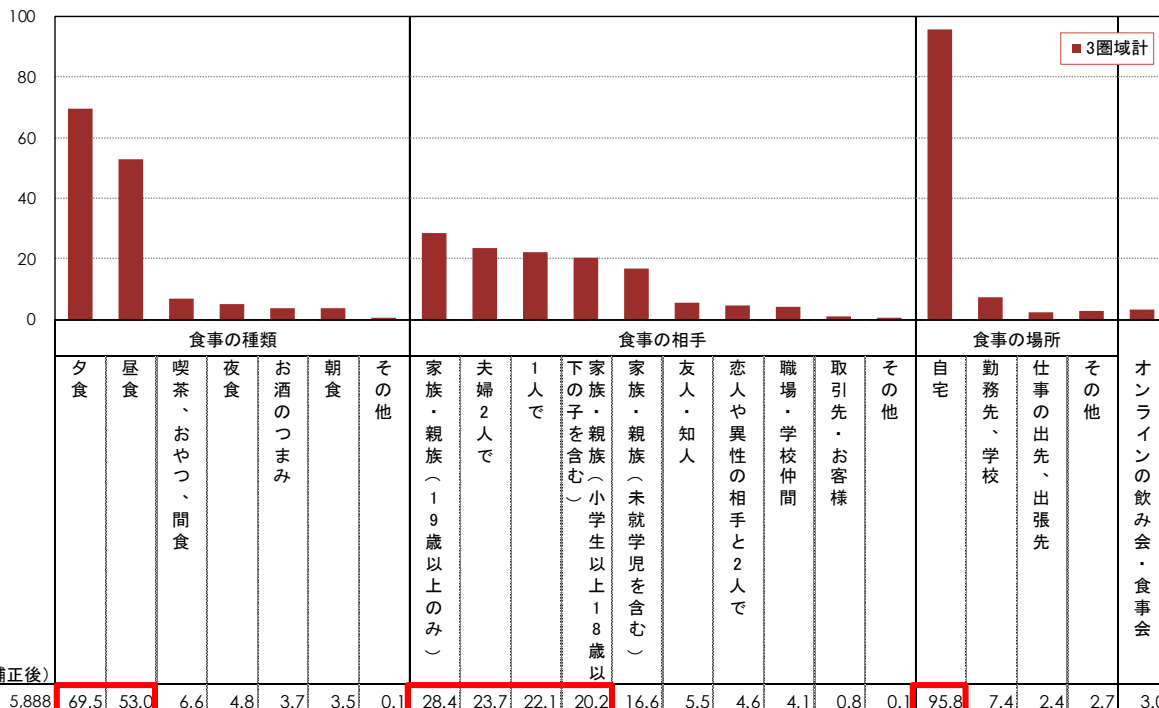
3圏域計より5ポイント以上低い項目

※「食事を主体とする業態」「軽食を主体とする業態」「飲酒を主体とする業態」「その他」が意味する具体的な業態は、前ページ参照

2. テイクアウトの利用が多かった食事シーンは「自宅」で、「夕食」に、「家族・親族」と飲食店からのテイクアウトを利用した食事シーンを聞いた。食事の種類では、「夕食」が最多で69.5%、また、「昼食」も53.0%と過半数。食事の相手では「家族・親族（19歳以上のみ）」が最多で28.4%、以下、「夫婦2人で」が23.7%、「1人で」が22.1%、「家族・親族（小学生以上18歳以下の子を含む）」が20.2%等となっている。また、食事の場所では「自宅」が圧倒的に多く95.8%。テイクアウト利用者の多かった性年代では、20・30代女性では「昼食」での利用が多く、30代男性では「1人で」や「家族・親族（未就学児を含む）」の食事相手が多かった。

■ 2020年5月に飲食店からの食べ物や飲み物をテイクアウトしたシーン
 (2020年5月に飲食店から食べ物や飲み物をテイクアウトした人/複数回答)

構成比(%)



(件数:人※補正後)

		3圏域計	5,888	69.5	53.0	6.6	4.8	3.7	3.5	0.1	28.4	23.7	22.1	20.2	16.6	5.5	4.6	4.1	0.8	0.1	95.8	7.4	2.4	2.7	3.0
性年代別	男性/20歳代	511	67.0	52.4	7.0	10.0	3.5	6.7	-	27.7	10.6	40.0	6.8	10.6	12.2	11.5	6.1	2.2	-	90.6	12.6	6.8	1.5	5.8	
	男性/30歳代	630	70.6	51.3	5.3	6.6	4.0	5.6	0.2	17.0	15.6	31.4	17.5	29.6	7.5	5.7	7.0	1.3	0.2	94.5	10.0	5.0	2.4	4.0	
	男性/40歳代	712	70.6	50.7	3.4	4.1	4.9	2.8	0.1	14.5	15.8	27.9	36.0	17.2	4.0	2.7	5.5	1.0	-	94.8	10.2	3.0	2.9	2.8	
	男性/50歳代	519	69.1	50.1	2.1	4.7	5.4	4.3	-	35.0	22.3	26.6	21.5	5.9	3.4	1.6	3.4	1.0	-	94.8	9.2	2.2	1.9	1.4	
	男性/60歳代	428	73.3	42.0	1.4	4.1	4.3	2.5	0.1	36.1	39.7	16.1	8.6	10.9	4.1	1.1	2.2	0.3	0.4	94.9	4.9	0.9	3.9	1.5	
	女性/20歳代	564	65.5	60.7	15.5	5.8	2.5	5.5	-	36.1	17.5	24.9	6.7	15.5	7.7	12.7	3.6	1.3	0.2	96.8	6.7	2.4	3.0	7.0	
	女性/30歳代	673	64.4	62.1	10.4	5.4	3.0	2.8	-	19.6	28.6	17.4	16.2	32.2	6.4	4.7	5.3	0.6	0.1	97.8	6.9	1.1	2.8	3.0	
	女性/40歳代	775	71.8	54.0	7.1	2.5	4.3	2.4	0.1	19.6	20.9	13.9	44.2	14.5	3.3	3.8	2.5	0.1	-	98.4	6.2	1.3	1.6	2.4	
	女性/50歳代	576	70.1	52.2	6.9	2.4	2.6	2.1	-	46.9	29.9	13.4	18.9	7.5	3.6	0.8	2.3	0.2	-	96.3	3.7	0.7	4.3	1.1	
	女性/60歳代	500	73.4	50.2	5.8	2.8	2.4	1.0	0.3	44.9	43.7	10.0	8.5	15.8	3.9	1.2	2.6	0.2	-	97.8	2.9	0.2	2.9	0.9	
圏域別	首都圏	3,389	70.6	52.9	7.2	4.7	4.5	3.7	0.1	27.4	24.5	24.1	18.9	15.2	5.5	5.0	4.1	0.9	0.1	95.9	8.0	2.3	2.5	3.5	
	関西圏	1,590	66.5	53.2	5.6	5.1	2.7	3.4	0.1	29.8	22.8	19.7	21.5	18.2	5.4	4.2	4.7	0.9	-	95.5	6.7	2.5	2.9	2.6	
	東海圏	909	70.8	53.2	6.3	4.5	2.5	3.4	0.1	29.4	22.2	18.5	23.0	19.5	5.7	3.5	3.4	0.5	0.1	96.1	6.6	2.4	2.8	2.3	

※3圏域計の多い順にソート

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

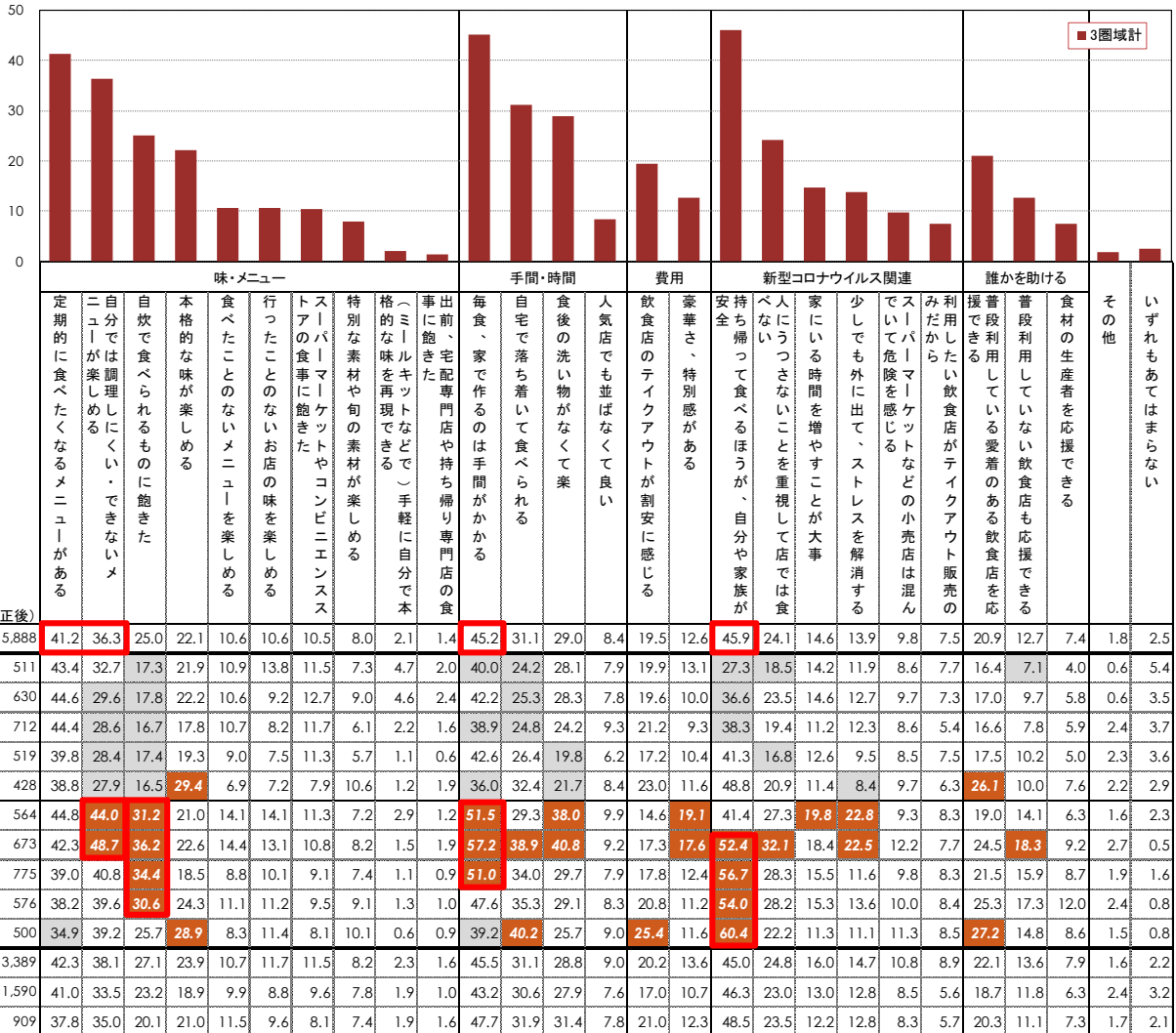
■ 3圏域計より5ポイント以上低い項目

3. テイクアウトを利用する理由は「安全」「作るのには手間」「食べたいメニューがある」

テイクアウトを利用した理由を聞いた。最も多かったのは「持ち帰って食べるほうが、自分や家族が安全」で45.9%、2位は「毎食、家で作るのには手間がかかる」で45.2%、3位は「定期的に食べたくなるメニューがある」が41.2%、4位に「自分では調理しにくい・できないメニューが楽しめる」が36.3%という結果であった。全体的に男女でスコア差が大きく、女性のほうが多くの利用動機を持っている傾向だ。特に「持ち帰って食べるほうが、自分や家族が安全」では30~60代女性、「毎食、家で作るのには手間がかかる」では20~40代女性、「自分では調理しにくい・できないメニューが楽しめる」では20・30代女性、「自炊で食べられるものに飽きた」では20~50代女性で目立って多かった。

■ 2020年5月に飲食店から食べ物や飲み物をテイクアウトした理由 (2020年5月に飲食店から食べ物や飲み物をテイクアウトした人/複数回答)

構成比(%)



(件数:人※補正後)

	3圏域計	5,888	41.2	36.3	25.0	22.1	10.6	10.6	10.5	8.0	2.1	1.4	45.2	31.1	29.0	8.4	19.5	12.6	45.9	24.1	14.6	13.9	9.8	7.5	20.9	12.7	7.4	1.8	2.5
3圏域計	5,888																												
性別	男性/20歳代	511	43.4	32.7	17.3	21.9	10.9	13.8	11.5	7.3	4.7	2.0	40.0	24.2	28.1	7.9	19.9	13.1	27.3	18.5	14.2	11.9	8.6	7.7	16.4	7.1	4.0	0.6	5.4
	男性/30歳代	630	44.6	29.6	17.8	22.2	10.6	9.2	12.7	9.0	4.6	2.4	42.2	25.3	28.3	7.8	19.6	10.0	36.6	23.5	14.6	12.7	9.7	7.3	17.0	9.7	5.8	0.6	3.5
	男性/40歳代	712	44.4	28.6	16.7	17.8	10.7	8.2	11.7	6.1	2.2	1.6	38.9	24.8	24.2	9.3	21.2	9.3	38.3	19.4	11.2	12.3	8.6	5.4	16.6	7.8	5.9	2.4	3.7
	男性/50歳代	519	39.8	28.4	17.4	19.3	9.0	7.5	11.3	5.7	1.1	0.6	42.6	26.4	19.8	6.2	17.2	10.4	41.3	16.8	12.6	9.5	8.5	7.5	17.5	10.2	5.0	2.3	3.6
	男性/60歳代	428	38.8	27.9	16.5	29.4	6.9	7.2	7.9	10.6	1.2	1.9	36.0	32.4	21.7	8.4	23.0	11.6	48.8	20.9	11.4	8.4	9.7	6.3	26.1	10.0	7.6	2.2	2.9
	女性/20歳代	564	44.8	44.0	31.2	21.0	14.1	14.1	11.3	7.2	2.9	1.2	51.5	29.3	38.0	9.9	14.6	19.1	41.4	27.3	19.8	22.8	9.3	8.3	19.0	14.1	6.3	1.6	2.3
	女性/30歳代	673	42.3	48.7	36.2	22.6	14.4	13.1	10.8	8.2	1.5	1.9	57.2	38.9	40.8	9.2	17.3	17.6	52.4	32.1	18.4	22.5	12.2	7.7	24.5	18.3	9.2	2.7	0.5
	女性/40歳代	775	39.0	40.8	34.4	18.5	8.8	10.1	9.1	7.4	1.1	0.9	51.0	34.0	29.7	7.9	17.8	12.4	56.7	28.3	15.5	11.6	9.8	8.3	21.5	15.9	8.7	1.9	1.6
	女性/50歳代	576	38.2	39.6	30.6	24.3	11.1	11.2	9.5	9.1	1.3	1.0	47.6	35.3	29.1	8.3	20.8	11.2	54.0	28.2	15.3	13.6	10.0	8.4	25.3	17.3	12.0	2.4	0.8
	女性/60歳代	500	34.9	39.2	25.7	28.9	8.3	11.4	8.1	10.1	0.6	0.9	39.2	40.2	25.7	9.0	25.4	11.6	60.4	22.2	11.3	11.1	11.3	8.5	27.2	14.8	8.6	1.5	0.8
圏域別	首都圏	3,389	42.3	38.1	27.1	23.9	10.7	11.7	11.5	8.2	2.3	1.6	45.5	31.1	28.8	9.0	20.2	13.6	45.0	24.8	16.0	14.7	10.8	8.9	22.1	13.6	7.9	1.6	2.2
	関西圏	1,590	41.0	33.5	23.2	18.9	9.9	8.8	9.6	7.8	1.9	1.0	43.2	30.6	27.9	7.6	17.0	10.7	46.3	23.0	13.0	12.8	8.5	5.6	18.7	11.8	6.3	2.4	3.2
	東海圏	909	37.8	35.0	20.1	21.0	11.5	9.6	8.1	7.4	1.9	1.6	47.7	31.9	31.4	7.8	21.0	12.3	48.5	23.5	12.2	12.8	8.3	5.7	20.3	11.1	7.3	1.7	2.1

※3圏域計の多い順にソート

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

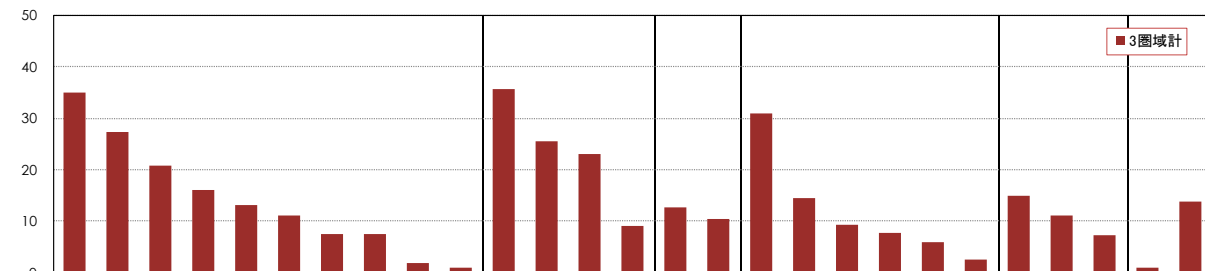
■ 3圏域計より5ポイント以上低い項目

4. 今後の利用動機は「作るのは手間」「自分では調理しにくい・できないメニュー」「安全」

今後、飲食店からのテイクアウトを積極的に行いたい理由を聞いた。前ページの2020年に5月に利用した理由と似た順位だが、最多は「毎食、家で作るのは手間がかかる」で35.7%、2位は「自分では調理しにくい・できないメニューが楽しめる」が35.1%、3位が「持ち帰って食べるほうが、自分や家族が安全」が31.0%と、ここまでが3割以上の回答となっている。ここでも回答スコアの男女差が大きく、前ページ同様、女性のほうが多くの利用動機を持っている。特に「毎食、家で作るのは手間がかかる」では20~40代女性、「自分では調理しにくい・できないメニューが楽しめる」では2~50代女性で目立って高いスコアとなっている。30代男性では「定期的に食べなくなるメニューがある」が33.2%と、男性では唯一目立って高いスコアとなっており、気に入っている外食メニューが強い利用意向につながる事が分かる。

■ 今後、飲食店からのテイクアウトを積極的に行いたいと思う理由（全体／複数回答）

構成比(%)



(件数:人※補正後)

	3圏域計	10,136	35.1	27.2	20.7	15.9	13.1	11.1	7.5	7.4	1.9	0.9	35.7	25.6	22.9	9.1	12.7	10.4	31.0	14.5	9.3	7.7	6.0	2.6	14.8	11.1	7.3	0.8	13.7
3圏域計	10,136	35.1	27.2	20.7	15.9	13.1	11.1	7.5	7.4	1.9	0.9	35.7	25.6	22.9	9.1	12.7	10.4	31.0	14.5	9.3	7.7	6.0	2.6	14.8	11.1	7.3	0.8	13.7	
性年代別	男性/20歳代	890	29.4	29.6	20.9	11.8	13.5	8.5	6.3	3.1	1.4	31.0	20.1	22.2	8.9	14.1	9.7	19.6	11.3	9.3	6.7	6.5	2.8	9.9	6.4	4.2	0.1	17.5	
	男性/30歳代	987	28.9	33.2	21.8	13.7	11.3	10.8	8.5	7.2	4.2	1.5	35.5	20.4	22.7	8.8	12.8	8.6	24.8	13.6	8.6	7.3	5.5	2.4	11.4	8.0	3.9	0.2	13.6
	男性/40歳代	1,270	28.3	29.8	18.3	10.5	11.1	8.4	7.9	4.7	2.0	1.0	30.3	20.4	19.0	8.2	13.6	7.4	24.1	11.2	8.4	6.6	5.0	2.7	11.5	7.5	5.3	1.2	17.1
	男性/50歳代	1,025	25.9	23.8	18.1	9.9	10.9	8.0	6.8	6.4	1.0	0.4	30.8	21.8	15.8	8.2	12.2	8.9	27.2	10.6	8.4	5.6	4.9	2.2	12.5	8.1	4.7	1.2	19.1
	男性/60歳代	931	27.1	21.7	21.8	9.2	9.6	6.6	6.6	9.3	1.0	1.1	27.2	25.0	15.6	7.6	13.0	9.4	31.4	10.8	8.0	4.4	5.9	2.2	14.6	7.4	6.1	0.8	23.4
	女性/20歳代	854	45.9	32.9	24.4	21.5	19.8	18.4	9.3	6.7	3.1	0.9	42.9	29.6	32.5	13.7	12.3	16.8	30.0	18.5	13.1	12.9	6.9	3.0	17.6	13.8	7.9	0.6	6.8
	女性/30歳代	959	50.0	31.2	23.0	27.6	17.9	16.9	8.7	8.8	1.7	1.1	49.2	31.1	34.7	12.4	12.5	14.8	38.6	20.3	12.5	14.1	8.1	2.6	20.6	17.5	10.4	1.4	4.4
	女性/40歳代	1,239	40.1	26.7	20.0	21.1	13.2	10.9	7.4	7.3	1.3	0.9	43.4	28.7	25.9	9.1	11.0	10.5	37.3	18.5	9.2	7.4	6.2	2.8	16.3	13.8	8.9	1.0	8.9
女性/50歳代	1,001	40.7	23.5	19.3	19.3	15.5	10.8	6.3	9.6	0.9	0.6	37.7	28.2	21.9	9.4	13.1	9.8	37.5	16.1	9.5	7.5	5.7	2.5	18.0	15.7	12.0	0.7	11.6	
女性/60歳代	980	36.6	20.1	21.5	15.4	10.7	8.8	5.6	8.8	0.9	0.5	28.9	31.3	21.0	5.5	12.5	10.2	38.9	13.9	6.7	5.7	5.6	2.6	16.4	13.4	10.0	1.0	14.7	
圏域別	首都圏	5,820	37.2	28.2	22.5	17.5	13.8	12.3	8.3	8.1	2.1	1.1	36.2	26.1	23.2	9.7	13.6	11.2	30.8	15.3	10.3	8.7	6.7	3.2	15.6	11.7	8.1	0.8	13.0
	関西圏	2,771	32.7	26.8	18.3	14.4	11.9	9.8	6.6	7.0	1.6	0.7	33.9	24.7	22.3	8.0	10.5	9.4	30.4	13.3	8.1	6.4	4.7	1.7	13.5	10.6	6.2	1.0	15.2
	東海圏	1,545	31.3	24.1	18.3	12.9	12.3	8.9	6.3	5.6	1.6	0.7	37.0	25.2	23.2	8.9	13.1	9.3	32.8	13.4	7.9	6.4	5.4	2.0	14.1	9.9	6.5	0.7	13.9

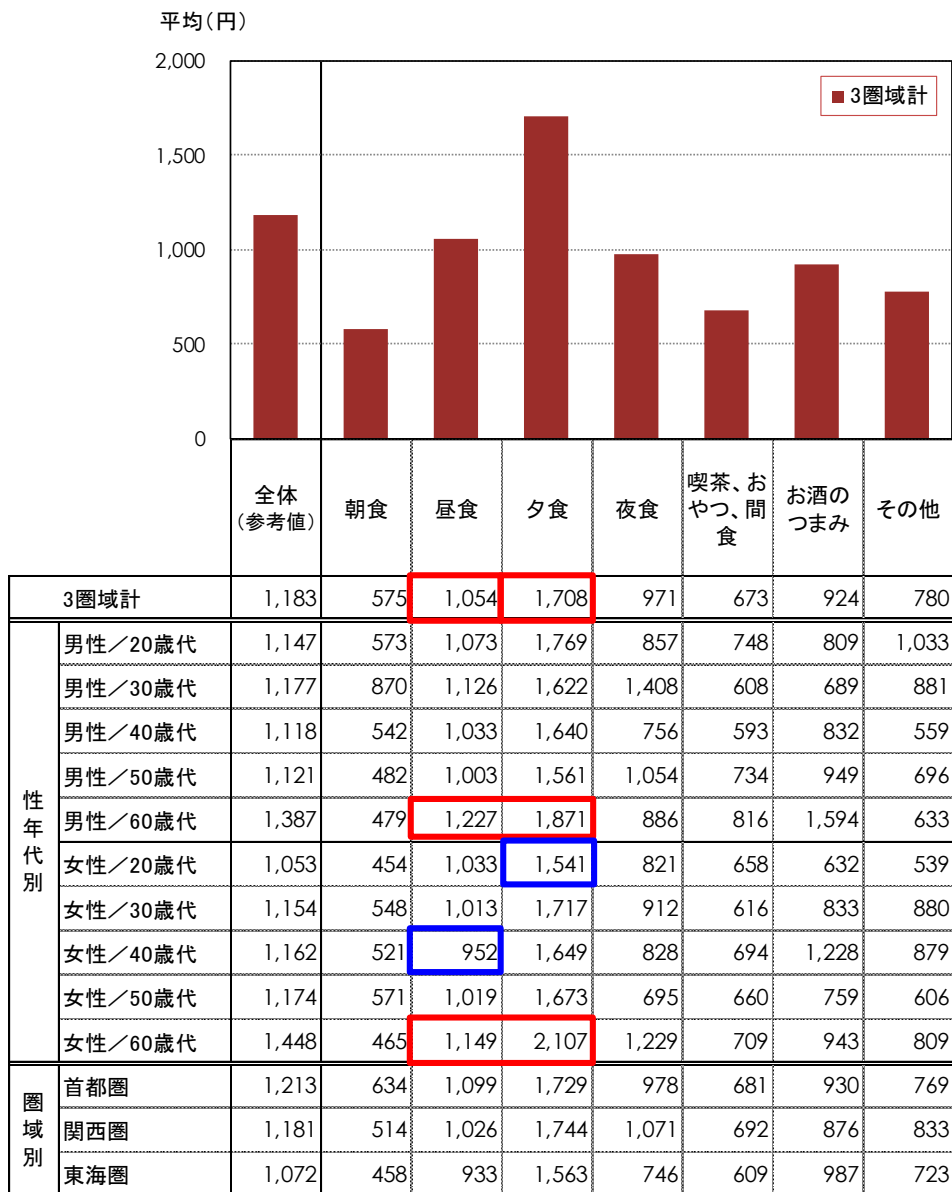
赤字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

黒字 3圏域計より5ポイント以上低い項目

5. テイクアウト単価、「夕食」が平均1,708円で最も高く、次いで「昼食」が同1,054円

テイクアウトの単価（一人一食分あたり）について、平均額が最も高かったのは「夕食」で平均1,708円であった。次いで、「昼食」が平均1,054円、「夜食」が平均971円等となっている。性年代別では、「夕食」で60代女性が平均2,107円と最も単価が高く、「昼食」で60代男性が平均1,227円と最も単価が高かった。「夕食」「昼食」とも60代が男女それぞれで最も高い平均単価となっている。逆に単価が最も低かったのは、「夕食」が20代女性で平均1,541円、「昼食」が40代女性が平均952円となっている。

■ 2020年4月～5月の2カ月間に利用した飲食店からの食べ物や飲み物のテイクアウトの費用（一人一食分あたり／それぞれ0円を除く金額回答者／それぞれ実数回答）



※「全体」の平均値は、7項目それぞれ実施率（0円を除く金額回答者率）を乗じて算出しており、各項目のテイクアウト利用頻度を反映していないため、参考値として掲載している。